

17日に政治集会開く

全共闘、今後の方針を決定

十一月十日の授業再開阻止行動以来、本学全共闘は首相訪米阻止闘争など街頭戦に力を注いだため学園での活動は一時、小休止状態であったが、有志連合主催の全学集会が開かれた二十九日から、再びその動きが活発化した。

五日、駿台学生会館の書庫闘争を展開するのを始め、六日は和泉で代表者会議を開く。そして十七日、全共闘は「全朝政治集會」を和泉校舎六書教室（予定）で開催する。これは全国でも屈指の強さを誇る本学全共闘が、現在注目を浴びていること、またそれ

なりに政治的焦点が存在しているということ、二日後の十九日に全国全共闘の集會（日比谷野音）が予定されている——など本学全共闘としてはこの集會を克ち取るべく、なみなみならぬ決意でその準備を進めている。集會はこれまでの闘いの中間総括、これからの展望などが語られるが、この集會の成り行きはこれからの明大闘争を占なうものとして興味深い。